

令和3年度 かながわ学びづくり推進地域研究委託事業(秦野市)



秦野市教育委員会の取組

秦野市教育委員会

研究テーマ: 児童・生徒の「学びに向かう力」の醸成

・校内研究に対する積極性と授業改善への意欲向上を図ることを目的にテーマを設定。

≪役割≫

推進校の取組の支援、教員の指導力向上、研究情報の共有化・成果の普及、全国学力・学習状況調査等の分析・結果の活用提起

秦野市学びづくり推進研究会(10/12)

講演 : 『今求められる学力と授業改善について』

講師 : 横浜国立大学 高木 まさき 副学長

実施方法: 会場での対面実施及びオンライン配信

≪主な内容≫

- ①教育制度の変遷と今育むことを求められている学力
- ②学習指導要領に込められたメッセージ
- ③令和3年度全国学力・学習状況調査について
- ④PISA調査から分かる成果と課題、及び改善に向けた方向性
- ④子どもが主体的に言葉に向き合う姿について

参加者の声

●読書は好きと答える児童生徒が一定数いる一方で、「読書に対する興味・関心がノンフィクションや新聞などに向いていない」ことが読解力の低下に関連しているというお話にハッとしました。

●国語科で学ぶための手段(タブレットの活用)が変わっていく現在ですが、言葉の重さや裏側の意味を読み取る力は、ずっと変わらず大切だということを感じました。言葉と向き合うことは、人の心とも向き合うことだと思います。国語科の学習をより深められるよう、努めていきたいと思っています。

●先日、学力調査の分析をしていて、やはり読解力や書くことへの課題を感じたのですが、どのように改善していくかについて悩んでいました。今回のお話の中で、様々なジャンルの本を読むことの重要性を聞き、改めて本に関わることの大切さを感じました。

推進校の研究テーマ

大根小学校	主体的に考えることを楽しむ おおねっ子の育成 ～子どものことばで考えがにつながる授業を目指して～
東小学校	自分の考えをもち、進んで表現できる子どもを目指して ～国語科の書くことを通して～
大根中学校	子どもの確かな成長を目指す授業力の向上 ～授業UDを取り入れた小中連携の視点から～
東中学校	ICTを活用した伝えあい、学びあう子どもの姿を目指して ～めあてと振り返りを意識した授業改善～

各校の校内研究会の取組

大根小学校

★年3回の授業公開及び講演会の実施

・算数科を中心に、子どもの言葉や問いを大切に授業づくりを目指して、教師の役割や考え方等について、横浜国立大学 池田 敏和教授による指導・講評。

・横浜国立大学 高木展郎 名誉教授による個別最適な学びと指導と評価の一体化についての講演会を実施

東小学校

★年3回の授業公開

・新学習指導要領における「書くこと」の指導内容及び言語活動を意識した授業公開を行い、山梨大学 茅野政徳准教授による指導・講評を実施。

・1年生、4年生、5年生でそれぞれ公開授業を行い、「書くこと」の指導内容について学年ごとの系統性を意識した研究を進めた。

大根中学校

★年2回の授業公開及び講演会の実施

・授業、教室環境、人的環境のUD化を意識した授業公開を行い、星槎大学の阿部利彦教授による指導・講評を実施。

・「人的環境のユニバーサルデザイン」をテーマに、星槎大学 阿部教授による講演会を実施。人的環境UDの重要性と表現に向けたポイントについて研究を深めた。

東中学校

★ICTを活用した授業改善

・各教科においてタブレット端末を始めたとしたICT機器の効果的な活用について研究を進め、職員間での理解を深めた。

・新型コロナウイルス感染症対策の観点から講師招聘等は行わず、学年間での互見授業の実施や評価の在り方についての研究を実施。

まとめ

今年度も新型コロナウイルス感染症対策の観点から、校内研究会の実施にあたっては各校とも実施に配慮が求められたが、ICT機器やオンラインを活用する等、それぞれ工夫をしながら研究を進めることができた。また、各校で行われた講演をオンラインで配信することで、市内で広く取組を共有することで、教職員の学びの充実につなげることができた。

今年度はGIGAスクール元年ということもあり、各校とも研究テーマを追求する中で、タブレット端末等ICT機器の活用方法について意識して授業づくりが行われており、成果や課題が見られている。

今後もデジタル教科書の導入やMEXCBT等、GIGAスクール構想が加速していくことから、これらの各校の成果を市内の小中学校で共有し、引き続き効果的な活用方法について研究を進めていく必要がある。